

平成26年度

事業報告書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

# I. 青少年活動

## 1. 子ども自然体験活動

### (1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8月<各3泊4日間>  
 開催数 4会場(あっさぶ、桧原湖畔、いばらき、沖縄)  
 スタッフ等 141名  
 参加者 252名(内、被災者招待18名、障害児招待9名)

イ. 「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日間>  
 開催数 3会場(富士山、関西、瀬戸内海)  
 スタッフ等 95名  
 参加者 253名

ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日間>  
 開催数 5会場(美幌、岐阜、広島、北部九州、鹿児島)  
 \*房総・鹿児島は台風接近の為、延期とし、鹿児島キャンプは9月に1泊2日で開催、房総キャンプは日程が合わず中止。  
 スタッフ等 179名  
 参加者 217名(内、障害児招待5名)

エ. 子ども自然体験キャンプ担当者会議《子どもゆめ基金助成活動》

期 間 5月3(土)~5月5日(月・祝) <2泊3日>  
 会 場 ばんだいふれあいぴあ  
 スタッフ 3名(青木富造、志村和也、谷野渉)  
 出席者 7名(各開催地キャンプ担当者)

オ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
① あっさぶ	根岸秋吉	真下淳一	② 桧原湖畔	志村和也	古城門奈津
③ いばらき	山崎政弘	小川幸恵	④ 沖 縄	青木富造	谷野 渉
⑤ 富 士 山	寺岡 賢	板倉和也	⑥ 関 西	寺岡 賢	板倉和也
⑦ 瀬戸内海	寺岡 賢	板倉和也			

カ. 子ども自然体験キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実 施 日	派遣講師
1	あっさぶ	5月27日(火)~ 30日(金)	根岸 秋吉
2	桧原湖畔	6月11日(水)~ 14日(土)	志村 和也
3	いばらき	6月24日(火)~ 25日(水)	山崎 政弘

キ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
① 美 幌	保坂 正志	② 房 総 (中止)	—	③ 友 愛	保坂 正志
④ 広 島	保坂 正志	⑤ 北部九州	志村 和也	⑥ 鹿 児 島 (延 期)	山崎 政弘

ク. 印刷物の作成

① 「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成《子どもゆめ基金助成活動》  
部 数 30,000部 (内15,000部は助成対象外)  
体 裁 A3版、4色刷

② 「子ども自然体験キャンプ」報告書  
部 数 1,300部  
体 裁 A4版、86頁

(2) 冬期子ども自然体験(スキー) キャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(金)～30日(火) <4泊5日>  
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場)  
指導者等 5名(高橋源一郎・相田好美〈SAJスキー指導員〉、  
青木富造、古城門奈津、谷野渉)  
参加者 55名(リーダー16名、キャンパー37名、ボランティア2名)

《第2回》

開催日 平成27年3月26日(木)～30日(月) <4泊5日>  
開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び裏磐梯スキー場)  
指導者等 5名(相田好美・若林知宏〈SAJスキー指導員〉、  
青木富造、志村和也、谷野渉)  
参加者 59名(リーダー15名、キャンパー42名、ボランティア2名)

(3) 夏期少年少女合宿講習会(青年会議所との共催事業) (会場: SYD伊勢青少年研修センター)

期 日	名 称	参加者
7月23日(水)～25日(金)	寺子屋伊勢合宿	98名
7月28日(月)～30日(水)	伊勢少年少女合宿講習会	116名
8月1日(金)～3日(日)	岸和田少年少女サマースクール	67名
合 計	3 回	281名
前年度	2 回	222名

(4) 第14回ナイトウォーク親子の集い(会場: SYD伊勢青少年研修センター)

開催日 9月6日(土)～7日(日)  
対 象 小学3年生以上の子どもと大人  
\*雨天のため中止

## 2. 子どもボランティア活動推進事業

### (1) 東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア

〈別表-2〉

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8月～平成27年1月 <各2泊3日間>  
開 催 数 6回  
活動場所 福島県、宮城県内の仮設住宅  
スタッフ 22名  
参加者 124名（リーダー13名、参加者105名、現地参加者6名）

### (2) 幸せの種まきキャンペーン 《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ア. 幸せの種まきキャンペーン《出前講座》の実施

〈別表-3〉

開 催 数 81会場  
派遣講師 4名（青木富造、山口千恵子、古城門奈津、志村和也）  
体験発表者 2名（山口祐也、藤井芹名）  
参加者 12,958名

イ. パンフレットの作成・配布

部 数 14,000部  
体 裁 A4版、8頁、4色刷  
配布先 14,000ヶ所

### (3) 絆を深めよう！子どもの学V I V A 《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-4〉

開 催 数 6会場  
指導者等 43名（指導者13名、青年指導者30名）  
参加者 307名

## 3. SYD指導者の養成

### (1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

《第1回》

開 催 日 7月26日(土)～31日(木) <5泊6日>  
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県石巻市ほか  
講 師 2名（遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門）  
スタッフ 5名（山崎一紀、青木富造、山口千恵子、岩佐加寿子、志村和也）  
参加者 34名（全国の中学生及び高校生等）

《第2回》

開 催 日 平成27年3月31日(火)～4月5日(日) <5泊6日>  
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、宮城県石巻市ほか  
講 師 2名（遠藤信幸：町立三春病院ケアワーカー、高橋源右衛門）  
スタッフ 6名（山崎一紀、青木富造、山口千恵子、岩佐加寿子、志村和也、  
谷野渉）  
参加者 34名（全国の中学生及び高校生等）

\*全国青年ボランティア・アクションin福島事前調査

期 日 3月9日(月)～10日(火) <1泊2日>  
派遣者 志村和也  
会 場 福島県下（喜多方市、会津若松市 他）

## (2) 全国青年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 11月1日(土)～3日(月・祝) <2泊3日>  
会場 国立信州高遠青少年自然の家  
講師 1名(遠藤祝穂・震災語り部)  
指導者等 6名(山崎一紀、青木富造、山口千恵子、古城門奈津、志村和也、谷野渉)  
参加者 42名(実行委員6名、参加者36名)

## (3) SYD自然体験チャレンジ～世界遺産富士山に臨む～

開催日 7月19日(土)～21日(月・祝) <2泊3日>  
会場 YMCA東山荘及び富士山  
スタッフ 3名(青木富造、志村和也、谷野渉)  
参加者 12名(高校生以上の青年)

### \* SYD自然体験チャレンジ事前調査

期 日 7月5日(土)～6日(日) <1泊2日>  
派遣者 志村和也  
会場 YMCA東山荘及び富士山他(山梨・静岡県下)

## (4) 自然体験活動リーダー研修会《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-5〉

開催数 10会場  
指導者等 21名  
参加者 146名

## (5) 報告書の作成(東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア&全国青年ボランティア・アクション in 福島&全国青年ボランティア・フェスティバル)

部 数 800部  
体 裁 A4版 86頁

## 4. 青年組織育成活動

### (1) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-6〉

期 間 5月～平成27年2月 <金曜日18:30～21:00>  
開催数 8回  
会 場 SYD会議室  
講 師 9名  
出席者 142名

### (2) 指導者の派遣と青年組織活動への助成

No.	「活動名」 実施団体	実施日	会場名	講師	リーダー 参加者	助成金額
1	「クリスマス会」 SYD鹿児島	12月7日(日)	八重山公園てんがら館	久世 郁夫	14名 18名	20,000円
2	「クリスマス会」 SYD広島	12月21日(日)	アセンブリーホール	—	10名 35名	10,000円

### (3) 協力活動

事業名	めんどく災?防災?～震災ドキュメンタリー×脱出ゲーム 【チャリティーイベント】
主催団体	0321防災めんどく災?実行委員会
期 日	3月21日(土) 14:00～17:00 (開場13:30)
会 場	SYDホール
協カスタッフ	古城門 奈津
内 容	東日本大震災ドキュメンタリー映画上映のほか、防災に関する体感型ゲーム、脱出ゲーム等。
献 金	イベント利益67,248円を幸せの種まき献金へ。
来 場 者	124名

## 5. 関係機関・団体との協力

### (1) 会議出席

〈別表-7〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議に出席した。

## 6. 第9回SYDボランティア奨励賞

### (1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会へ広報依頼をしたところ、全国39都道府県から137件の応募があった。

### (2) 選考委員会の開催

日 時 平成27年1月15日(木) 11時～13時30分

会 場 SYD会議室

出席者 選考委員9名 明石要一(千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長)  
鈴木優子(学校法人立教女子学院理事・法人事務局長)  
仲野好重(一般財団法人人間塾代表理事)  
長沼 豊(学習院大学教授)  
堀井榮夫(全日本中学校長会事務局長)  
山田一功(社団福祉法人ひかりの里理事長、公益社団法人  
日本PTA全国協議会元副会長)  
御手洗康(SYD修養団理事長)  
山崎一紀(SYD修養団専務理事)  
青木富造(SYD修養団青年部長)

職 員3名 岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子

《選考結果》\*選考委員会の席上、選考委員からの強い希望により、昨年引き続き、「理事長特別賞」を設けた。

文部科学大臣賞 1点

いなべ市立大安中学校 テクニカルボランティア部 (三重県)

理事長特別賞 1点

東洋大学 学生ボランティアセンター (東京都)

優秀賞 2点

【小・中学生の部】 塩尻市立楢川丘中学校 雪かきボランティア (長野県)

【高校生の部】 岩手県立久慈工業高等学校 (岩手県)

【大学生・一般の部】 該当なし

## 特別賞 2点

青森県立名久井農業高等学校 TEAM FLORA PHOTONICS

(青森県)

住吉っ子支え隊

(愛知県)

### (3) 贈呈式

日 時 平成27年2月11日(祝・水) 13時～14時30分  
会 場 SYDホール  
出席者 60名(受賞関係者16名、来賓2名、参加者24名)  
内 容 文部科学省スポーツ・青少局青少年課長 泉潤一様より来賓祝辞と文部科学大臣賞の贈呈、選考委員・学習院大学教授の長沼豊様より選考経過を報告、御手洗理事長より優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者から挨拶と活動発表があった。

## Ⅱ. 国際交流活動

### 1. 青年ボランティア・アクション in フィリピン

#### (1) 青年ボランティア・アクション in フィリピン 《文部科学省後援》

開催日 8月19日(火)～25日(月) <6泊7日>  
訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)  
スタッフ 青木富造、山口千恵子  
参加者 30名(全国の中学生〈15歳以上〉及び高校生以上の青年リーダー)

#### (2) 青年ボランティア・アクション in フィリピン支援バッグ作成作業

期 日 8月6日(水)、7日(木) <2日間>  
会 場 SYDホール  
参加者 6日:13名、7日:14名

### 2. ブラジルとの指導者交流事業

#### (1) ブラジルへの指導者派遣

派遣期日 平成27年1月6日(火)～2月12日(木) <38日間>  
派遣先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ 他)  
派遣者 志村和也(講師補・青年部)  
活 動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会 等

期 日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー等	計
1/ 9～11	モジ・ダス・クルーゼス講習会	147名	55名	202名
1/16～18	スザノ講習会	176名	63名	239名
1/20～22	アサイ講習会	78名	30名	108名
1/23～25	マウア・ダ・セーハ講習会	58名	41名	99名
1/27～29	ロンドリーナ リーダー養成研修会	40名	29名	69名
1/30～2/1	マリンガ修養林間学校	114名	52名	166名
2/ 7～ 8	イシバシカキエンリーダー養成研修会	56名	18名	74名

1/25	マウア・ダ・セーハ講演会	25名	—	25名
1/31	マリンガ講演会	85名	—	85名
合 計		779名	288名	1067名

## (2) ブラジル青少年指導者の招聘

招聘期日 7月15(火)～8月11日(月) <28日間>  
 招聘者 ルーカス アウベス マシエル (24歳・社会人)  
 太田 春美 ナターシャ (26歳・社会人)  
 主な日程 本部研修、伊勢研修、ぼんだいふれあいびあ、都内視察 他

## 公益2

### Ⅲ. 講習会・講演活動

#### 1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

##### (1) みがく講習会 (定例講習会) <別表-8>

開催数 10回 <各3泊4日>  
 参加者 466名(定員各60名)  
 対象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

##### (2) みがく特別講習会 <別表-8>

開催数 4回 <各1泊2日>  
 参加者 419名(定員各100名)

##### (3) 特別講習会

###### ア. 神嘗祭講習会

期 日 A：初穂曳コース：10月15日(水)～17日(金) <2泊3日>  
 B：神嘗祭コース：10月16日(木)～17日(木) <1泊2日>  
 参加者 A：38名  
 B：56名 計94名(定員各50名)

###### イ. 初詣新春の集い

期 日 平成27年1月10日(土)～11日(日) <1泊2日>  
 参加者 76名(定員80名)

##### (4) 受託講習会 <別表-9>

開催数 21回  
 参加者 1,229名

##### (5) 一般講習会 <別表-10>

開催数 28回  
 参加者 1,655名

## 2. 関東・東北地区講習会

### (1) 新入社員セミナー

期 日 4月9日(水)～11日(金) <2泊3日>  
会 場 レイクサイド磐光(福島県)  
講 師 等 5名(白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、山崎政弘)  
参 加 者 44名(男:27名、女:17名)

### (2) リフレッシュセミナー

期 日 平成27年2月10日(火)～12日(木) <2泊3日>  
会 場 レイクサイド磐光(福島県)  
講 師 等 4名(鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、山崎政弘)  
参 加 者 24名(男:24名、女:0名)

### (3) 受託セミナー

〈別表-11〉

#### ア. 新入社員セミナー

##### ① 1日コース

開 催 数 1回  
参 加 者 35名

##### ② 1泊2日コース

開 催 数 5回  
参 加 者 297名

##### ③ 2泊3日コース

開 催 数 4回  
参 加 者 113名

#### イ. ブラインドウォークセミナー

##### ① 半日コース

開 催 数 7回  
参 加 者 251名

#### ウ. パート社員セミナー

##### ① 1日コース

開 催 数 15回  
参 加 者 1,111名

#### エ. 一般社員セミナー

##### ① 1日コース

開 催 数 5回  
参 加 者 122名

##### ② 1泊2日コース

開 催 数 13回  
参 加 者 765名

### (4) 学校・社会教育団体等への講師派遣・幹旋

〈別表-11〉

#### ア. 講習会

開 催 数 1回  
参 加 者 45名

#### イ. 講演会

開 催 数 1回  
参 加 者 40名

## (5) 企業組織巡回

講演会、講習会の参加者募集及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

- ・北陸地区 9月17日～19日(11社)
- ・福島県下 10月7日～10日(22社)
- ・茨城県下 10月15日～17日(20社)

## \*連合会・クラブ、企業・青少年団体等主催講習会・講演会(集計)〈別表-12〉

### (1) 講習会

開催数 78回  
参加者 4,387名

### (2) 講演会

開催数 28回  
参加者 2,064名

## IV. 家庭教育活動

### 1. 家庭力アップ・セミナー

家庭が本来持っている機能・役割を「家庭力」とし、それをさらにアップ(発揮)させて、より幸せな家庭をつくり、学校や職場、地域社会をイキイキと明るくすることを目指して実施した。

このセミナーでは、家族のコミュニケーションの重要性を基本とし、講演とワークショップ(会話劇と話し合い)などをおこない、生き方を見直し、生活習慣の改善など実践への意欲を高めた。

開催に当っては公益社団法人全国公民館連合会の後援を得て、クラブ・連合会が実施団体となって、諸機関の協力を得た。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
10月5日(日)	三重県伊勢市	修養団伊勢青少年研修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会 青年部灯会 修養団伊勢いなほの会	46	久世郁夫 保坂正志
11月15日(土)	新潟県上越市	上越市市民プラザ	修養団上越 共催: 上越市・上越市教育委員会・ 上越市地域青少年育成会議協議会	21	横瀬和夫 久世郁夫
1月31日(日)	香川県高松市	香川県教育会館	修養団香川県連合会	68	山崎一紀 久世郁夫
合計		3会場		135名	6名

### 2. 家庭教育講演会

11月15日 修養団福島県連合会「教育講演会」(郡山市・小山田幼稚園) 120名  
【根岸秋吉】

3月8日 修養団八和田親和会・修養団埼玉県連合会「さわやか家庭《共育》講演会」(埼玉県小川町・八和田公民館) 52名【宝井琴柑氏、根岸秋吉】

## V. 会員・組織活動

### 1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員および連合会等の会員組織と連携を図りながら、下記事業・活動を展開し、「幸せの種まき運動」を推進した。

#### (1) 愛汗実践塾

「愛と汗」をはじめとする修養団の理念について理解を深め、実践への意欲を高めるとともに、会員組織の後継者育成および地域社会や職場・学校等におけるリーダー養成の機会として実施した。広島県では初の開催となった。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
9月6日(土)	東京都 渋谷区	SYD会議室	修養団よよぎっこ倶楽部 修養団日立システムズ五十鈴会 修養団神奈川県連合会 修養団東京都連合会	16	牧原満男 久世郁夫 保坂正志
10月29日(水)	福島県 喜多方市	さわらステーション	修養団愛汗喜多方 修養団福島県連合会 協力：修養団山都愛汗の会 後援：喜多方市教育委員会 医療法人佐原病院 福島民報社 ほっと・ねっと社	33	久世郁夫 保坂正志
3月14日(土)	広島市 安芸郡坂町	坂町社会福祉協議会アセンブリーホール	修養団広島県連合会	12	久世郁夫 保坂正志
合計	3会場			61名	7名

#### (2) 第6回「チャリティー演芸会」落語立川流が集まった！ーストリートチルドレン支援ー

日時 7月4日(金) 18時30分～20時30分

会場 SYDホールホワイエ

出演者 立川晴の輔、立川志らら、立川らく次、立川笑二

参加者 55名

係員 6名(ボランティア4名・職員2名)

※収益金136,295円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

#### (3) 「チャリティーバザー」ーストリートチルドレン支援・東日本大震災被災者支援ー

昨年まで演芸会と同日開催していたバザーを単独で実施。関係企業・団体およびクラブ・連合会等から提供いただいた名産品や野菜等を格安で販売した。また、修養団埼玉県連合会の49名が、大型バスを利用して都内観光を兼ねて参加した。

日時 11月15日(土) 12時00分～14時00分

会場 SYDビル1階エントランスホールほか

参加者 350名(近隣住民および会員など)

係員 40名(ボランティア26名・役職員14名)

※収益金112,312円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

#### (4) 第11回「平田康子チャリティーJAZZコンサート」ーストリートチルドレン支援ー

ジャズ・ヴォーカルの平田康子さんをはじめとするプロミュージシャン5名が出演し、全13曲を披露した。

日時 10月17日(金) 18時30分～20時30分

会場 SYDホール

参加者 186名

出演者 平田康子、道下和彦、進藤陽悟、明石昌夫、松山修

※収益金312,383円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

※平田氏は郷里の福岡県久留米市において、「ストリートチルドレン支援ー平田康子チャリティーJAZZディナーショー」を11月21日に開催し、同実行委員会名で収益金100,000円を幸せの種まき献金に寄付して下さった。

## 2. 会員組織活動への支援など

### (1) 第3回「全国修養団運動推進会議」の開催

日時 6月7日(土) 13時～17時30分

会場 SYDホール

出席者 64名

主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人 42名

オブザーバー 3名

役職員 19名

内容 平成25年度事業報告と決算および26年度事業計画と予算の概要説明をおこなった。また、今年度事業の具体的展開、クラブ・連合会活動の活性化を図るため、事例報告と協議を実施。協議終了後に「宣言」を採し「宣言」と「協議の主な発言要旨」は、6月20日に会議出席者並びに全国のクラブ・連合会へ文書で送付した。

### (2) 講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。回数:22回

\*下記は、開催日、事業名、会場、参加者数、派遣者名の順

4月20日 修養団新潟県連合会「定期理事会並びに役員総会」(新潟市・新潟東映ホテル) 15名【久世】

5月24日 SYDボランティア友の会「第7回総会・記念講演〈猪爪芳朗氏〉」(SYD会議室) 12名【久世】

5月24日 修養団愛汗郡山「第9回定例総会・理事会」(郡山市・花の祥) 8名【根岸】

6月6日 修養団伊勢いなほの会「第7回総会」(伊勢青少年研修センター) 23名【斎田】

6月7日 修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」(東京都・キングスランド) 37名【山崎ほか】

6月13日 修養団愛汗喜多方「平成26年度総会」(喜多方市・厚生会館) 23名【久世】

6月15日 修養団鹿児島県連合会「平成26年度総会・講演(久世)」(鹿児島市・加治屋町民館) 12名【久世】

6月22日 修養団山都愛汗の会「平成26年度総会」(喜多方市・山都開発センター) 24名【山崎】

6月27日 修養団神奈川県連合会「第33回定期総会」(横浜市・日立システムズはせがわビル) 14名【久世、小川】

7月5日 修養団(旧)日立電子サービスOB五十鈴会「第4回総会」(東京都・日立

- システムズテクノサービス品川オフィス) 9名【小川】
- 7月10日 修養団福島県連合会「平成26年度通常総会」(郡山市・ベルヴィ郡山館) 22名【御手洗、山崎】
- 7月11日 修養団日立システムズ五十鈴会「第26回定期総会」(東京都・日立システムズ本社) 20名【山崎、小川】
- 7月22日 修養団千葉県連合会「第40回定例総会・記念講演(安田敬一会長)」(千葉市・バーディーホテル千葉) 17名【山崎、久世】
- 10月11日 修養団神奈川県、千葉県、東京都の各連合会「会議」(東京都・SYD小会議室) 4名【久世、保坂】
- 10月25日 修養団豊栄「90周年記念講演会(山崎)」(新潟市・葛塚コミュニティセンター) 52名【山崎】 ※講演会後の祝賀会は出席者26名
- 12月6日 修養団関東地区「有志による情報交換と交流会」(SYD会員ルーム) 11名【小川】
- 12月6日 修養団鹿児島県連合会「楊名時太極拳堀道場懇談会」(薩摩川内市・堀道場) 20名【久世】
- 12月7日 修養団鹿児島県連合会「青少年クリスマス会(講演:久世)」(鹿児島市・八重山公園てんがら館) 32名【久世】
- 12月23日 皇居参賀の集い実行委員会<神奈川県・千葉県・東京都各修養団連合会> 「天皇誕生日・奉祝～皇居参賀の集い」(東京都・皇居) 65名【保坂、小川】
- 2月15日 楊名時太極拳堀道場「幸せの種まき講演会」(薩摩川内市・堀道場) 150名【久世】 ※後援:修養団鹿児島県連合会
- 2月16日 吉利地区公民館「幸せの種まき講演会」(日置市・吉利地区公民館) 36名【久世】 ※後援:修養団鹿児島県連合会
- 2月22日 修養団愛汗喜多方・修養団山都愛汗の会「交流の夕べ」(喜多方市・いいで荘) 15名【山崎】

### (3)「修養団創立109周年を祝う集い」への支援

千葉県・神奈川県・東京都の各修養団連合会による合同主催で実施され、その支援をおこなった。

開催日 2月11日(祝・水)

会場 SYDホール

内容 <第1部> 第9回「SYDボランティア奨励賞」贈呈式

\*参加者60名(来賓2名、ボランティア奨励賞受賞関係者16名を含む)

<第2部> 記念式・修養団年次功労者表彰

記念講演「大惨事!老いるショックをどう生きるか?」

～現役時代から大切にしたい10のポイント～

<講師:企業リスク研究所代表・白木大五郎 氏>

\*参加者48名(功労者表彰受賞者4名を含む)

<第3部> 祝賀会

\*参加者46名

### (4) 皇居勤労奉仕団への支援

ア. 修養団大和みどり会「広島県大和町友の会皇居勤労奉仕団」

期 日 12月8日(月)～13日(土) <5泊6日>

参加者数 15名

派遣職員 小川幸恵

\*12月9日に修養団本部を訪問(挨拶・講話/山崎一紀)

## (5) 喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師事業」への支援

講師を派遣し、講演は各会場とも「愛と汗の人・蓮沼門三」の演題でおこなった。

- 1 1月27日 関柴小学校道徳教育講演会(講演：久世郁夫)〈対象：5～6年生〉  
《協力：修養団愛汗喜多方》(関柴小学校) 57名
- 1月12日 上三宮新春懇談会(講談：宝井琴柑氏、講演：久世郁夫)  
《実施：上三宮遊樹館、協力：修養団愛汗喜多方・修養団福島県連合会》(上三宮遊樹館) 80名
- 1月18日 岩月町新春座談会(講演：久世郁夫)  
《実施：岩月交遊館、協力：修養団愛汗喜多方》(岩月交遊館) 110名
- 2月23日 山都小学校道徳教育講演会(講演：山崎一紀)〈対象：5～6年生〉  
《協力：修養団山都愛汗の会》(山都小学校) 39名
- 2月23日 山都中学校教育講演会(講演：山崎一紀)〈対象：1～2年生〉  
《協力：修養団山都愛汗の会》(山都中学校) 47名

## (6) 諸団体との連携

- 4月25日 社会教育団体振興協議会「第1回幹事会」(SYD会議室) 14名  
【山崎、久世】
- 5月15日 千修会「第1回理事会」(SYD会議室) 9名 【久世】
- 5月16日 千修会「さつまいも収穫ほくほくバスツアー(10/30)のための苗植え作業」(埼玉県小川町) 6名 【根岸】
- 6月17日 千修会「平成26年度総会・ミニ落語会&ビデオ上映会」(SYD会議室) 26名 【久世】 ※修養団後援
- 6月23日 東京のあすを創る協会「定時総会」(東京都・京都消費生活総合センター) 40名 【久世】
- 6月25日 社会教育団体振興協議会「平成26年度総会」、「第42回社会教育関係者懇親の集い」(東京都・スクワール麹町) 121名  
【御手洗、山崎、根岸、青木、〈集い係員〉古城門】
- 10月 5日 千修会「写真展一懐かしの昭和・千代神界限」(東京都・鳩森小学校) 600名《第18回「千駄ヶ谷まつり」の中で実施》 ※修養団後援
- 10月30日 千修会「さつまいも収穫ほくほくバスツアー」(埼玉県小川町) 20名  
【根岸】 ※修養団後援
- 11月 7日 (一財)日本青年館「第70回田澤義鋪記念会・講演(多仁照廣氏「田澤義鋪と蓮沼門三・山本瀧之助―青年指導・若連中のことなど」)」(東京都・日本青年館) 47名 【山崎、久世】
- 11月28日 社会教育団体振興協議会「第2回幹事会」(SYD会議室) 10名 【山崎、久世】
- 12月11日 千修会「第2回理事会」(SYD会議室) 8名 【久世】
- 2月 5日 (独)国立青少年教育振興機構「2015 ミクロネシア諸島自然体験交流事業“総合評価委員会”」(東京都・オリンピック記念青少年総合センター) 7名 【久世】
- 2月13日 千修会「実行委員会」(SYD小会議室) 6名
- 3月 9日 社会教育団体振興協議会「第30回文部科学省と語る会」(東京都・東海大学校友会館) 50名 【御手洗、久世】
- 3月18日 東京のあすを創る協会「第2総会・講演」(東京都・東京都消費生活総合センター) 60名 【保坂】
- 3月23日 千修会「創立15周年記念・千代神寄席」(東京都・北参道地域施設会議室) 55名 【山崎、久世、真下】 ※修養団後援

### 3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

#### (1) 会員の現状

〈別表－13〉

会員種別	当年度(27.3.31現在)	前年度(26.3.31現在)	増減
ふれあい会員	472	555	△83
愛会員	719	798	△79
向上会員	1,680	1,719	△39
永生会員	10,728	10,728	0
合計	13,599	13,800	△201

#### (2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(27.3.31現在)	前年度(26.3.31現在)	増減
法人会員	99	101	△2
個人会員	162	162	0
合計	261	263	△2

## VI. 幸せの種まき献金活動

### 1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動を行った。引き続き東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、多数の死傷者や家屋の被害を受けた8月の広島市豪雨土砂災害に対しても支援を呼びかけた。

単位：円

	26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	
<b>月計金額</b>	<b>213,780</b>	<b>235,542</b>	<b>274,387</b>	<b>271,498</b>	<b>216,441</b>	<b>390,816</b>	
《一般献金》	136,780	146,612	120,327	215,778	48,441	102,691	
《指定献金》	77,000	88,930	154,060	55,720	168,000	288,125	
指定 献金 内 訳	東日本大震災被災者支援	0	0	0	30,000	32,980	
	広島土砂災害被災者支援	0	0	0	0	30,000	
	フイリピン	台風被災者支援	2,000	0	0	10,100	0
		子ども学資支援	60,000	45,000	105,000	15,000	45,000
		大学生学資支援	15,000	33,930	3,060	10,620	30,000
		学校支援	0	10,000	46,000	20,000	13,000
子ども医療支援	0	0	0	0	50,000	0	

	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月		
<b>月計金額</b>	<b>550,131</b>	<b>976,843</b>	<b>1,046,200</b>	<b>67,803</b>	<b>168,887</b>	<b>437,573</b>		
《一般献金》	429,384	792,721	707,027	44,721	107,019	91,225		
《指定献金》	120,747	184,122	339,173	23,082	61,868	346,348		
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	73,380	13,160	0	4,000	20,000	147,248	
	広島土砂災害被災者支援	15,000	152,000	0	0	0	0	
	フィリピン	台風被災者支援	0	0	0	0	0	0
		子ども学資支援	15,000	15,000	270,000	15,000	0	105,000
		大学生学資支援	3,650	3,962	39,173	4,082	2,868	21,000
		学校支援	13,717	0	30,000	0	39,000	92,000
		子ども医療支援	0	0	0	0	0	0

	今年度合計	前年度合計	
<b>年間合計金額</b>	<b>4,849,901 (242件)</b>	<b>6,014,885 (266件)</b>	
《一般献金》	2,942,726 (135件)		
《指定献金》	1,907,175 (107件)		
指定献金内訳	東日本大震災被災者支援	320,768 (12件)	
	広島土砂災害被災者支援	197,000 (6件)	
	フィリピン	台風被災者支援	12,100 (2件)
		子ども学資支援	735,000 (39件)
		大学生学資支援	302,790 (19件)
		学校支援	289,517 (28件)
		子ども医療支援	50,000 (1件)

### 〈チャリティーツアーの実施〉

献金委員会の呼びかけで、関東地区において募金活動の一環として、修養団のバスを利用しチャリティーツアーを2回実施（いちご狩り、みかん狩り）し、合計165,863円を献金した。

第1回 4月12日（土） 参加者28名、心の参加者12名

第2回 12月14日（日） 参加者23名、心の参加者7名

\*心の参加者=参加できないが、趣旨に賛同して献金して下さる人

## 2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供45名、大学生3名の学資支援、380名の子供たちが学ぶ2つの学校の支援を行い、ブラジルの施設も支援した。また、広島市豪雨災害などの被災者及び福祉施設・団体への支援を行った。

(※=全て指定献金/ \*\*=一部指定献金)

### 〈東日本大震災被災者支援〉

- ・「SYD東日本大震災仮設住宅訪問青少年ふれあいボランティア（特別開催）」活動経費（食材費）

70,304円※

### 〈その他の災害被災者支援〉

・フィリピン：台風30号災害被災者支援(学用品プレゼント)	12,100 円※
・広島県：広島市8・20豪雨災害義援金(広島市役所企画総務局総務課)⑨	200,000 円**
・広島県：広島市土砂災害ボランティア経費(ボランティア43名分弁当代)	21,500 円※

### 〈ストリートチルドレン支援〉

・フィリピン：ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等)	550,000 円
・フィリピン：子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・45名)	675,000 円※
・フィリピン：大学生学資支援(スカベンジャー・3名)	450,000 円**
・フィリピン：「パンガラップ・ラーニング・スクール」 (学校運営支援・10万円×12ヵ月)	1,200,000 円**
・フィリピン：ストリートチルドレン(医療費)	50,000 円※
・フィリピン：「マザー・テレサの家」(支援品)	30,267 円
・ブラジル：「コロニア・ベネーザ」(教育支援金)	70,000 円

### 〈福祉施設・団体支援〉

・広島県：介護老人福祉施設「北原荘」	30,000 円
・広島県：介護老人保健施設「天心ケアハイツ」	30,000 円
・広島県：山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」	30,000 円
・三重県：伊勢身体障害者「協和会」	80,000 円
・三重県：NPO法人「たまき末芳園」	80,000 円
・三重県：社会福祉法人まほろばの里「しいの木園」	30,000 円

---

合 計 3,609,171 円  
前年度合計 5,499,018 円

⑨⇒修養団広島県連合会青年部が持参

## 3. 幸せの種まき献金委員会

### (1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成26年 4月7日、5月8日、6月11日、7月8日、9月8日、10月8日、  
11月13日、12月10日

平成27年 1月6日、2月6日、3月10日

### (2) 報告書の作成・配布

平成25年度活動報告書(1,500部)を発行し、連合会・クラブ、募金して下さった方々などに送付した。

## VII. 出版・広報活動

### 1. 機関誌「向上」「愛」の発行

#### (1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	3,000	ふれあい
5月号	3,100	健やかさ
6月号	3,300	優しさ
7月号	3,100	親しみ
8月号	3,000	楽しみ
9月号	3,200	気づき
10月号	3,300	思いやり
11月号	3,200	努める
12月号	3,400	信じる
1月号	3,500	よろこび
2月号	3,600	安らぎ
3月号	3,200	伝える
合計	38,900部	(前年度40,200部)

#### (2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	1,400	
5月号	1,400	
6月号	1,600	
7月号	2,000	「ふれあい特集号」577部含む
8月号	1,300	
9月号	1,500	
10月号	1,600	
11月号	2,200	「ふれあい特集号」480部含む
12月号	1,600	
1月号	1,700	
2月号	1,800	
3月号	1,900	「ふれあい特集号」452部含む
合計	20,000部	(前年度20,800部)

### 2. 平成27年版「日々の力」の制作・販売

#### (1) 制作

題名 「心に虹を！」  
 作者 〈絵と文字〉来栖三江（絵手紙作家）  
 内容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵手紙風の絵を添えて制作した。  
 体裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り  
 印刷部数 17,000部(宣伝用含む)

第1回納品－7月10日、第2回納品－8月29日

## (2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区 分	件 数	部 数
SYDオリジナル	84	2,471
予 定 表 付	33	260
無 地	46	535
注文名入れ印刷	61	11,880
合 計	224件	15,146部
前年度合計	237件	14,675部

※ 9月11日～12日 修養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下9社を販売促進活動で訪問【保坂】

## 3. 教育図書 の普及、教材 の販売

『人生のことは365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

## 4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,200部(4頁または6頁)を発行し(NO.73~83)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

## 5. 広報活動

### (1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

## 公益4・収益1

## VIII. 施設運営事業

### 1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-14〉

#### (1) 利用状況

ア. SYD主催講習会

開 催 数 16回(前年度24回)

参 加 者 1,055名(前年度2,469名)

イ. 受託講習会(修養団方式)

開 催 数 21回(前年度12回)

参 加 者 1,229名(前年度894名)

ウ. 一般研修会

開 催 数 28回(前年度37回)

参 加 者 1,655名(前年度2,512名)

## 2. ばんだいふれあいびあ

### (1) 利用状況

月	利用団体数	利用者数	延べ利用者数
4月	0	0	0
5月	3	22	55
6月	0	0	0
7月	2	38	212
8月	4	224	872
9月	2	45	135
10月	2	32	85
11月	1	92	66
12月	1	58	290
1月	1	25	75
2月	1	10	20
3月	2	93	397
合計	19回	639名	2,207名
前年度合計	18回	616名	2,230名

### (2) 施設の整備等

#### ア. 案内看板の設置

木製の案内看板が破損していたため、新たな木製案内看板を制作・設置した。  
(工事：9月8日～15日)

#### イ. その他

喜多方市と北塩原村の関係先12ヶ所を久世と佐藤で新年挨拶まわりをした。  
(1月13日)

## 3. 修養団SYDビル

### (1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

#### ア. SYDホール

回数 156回 (前年度158回)  
利用者数 19,460名 (前年度18,260名)

#### イ. SYD会議室(16階)

回数 50回 (前年度47回)  
利用者数 750名 (前年度830名)

### (2) SYDホールの整備等

ア. 高輝度プロジェクタ入替・操作盤改修工事を行った (平成26年3月～4月)

イ. マイクシステム等音声機器改修工事を行った (平成27年1月)

ウ. Wi-Fi (無線LAN) 導入工事を行った (平成27年1月)

## 4. 関西会館

テナントが決まり、次のとおり契約を行った。

2階部分 一般社団法人Me2 2月1日より入居

1階部分 山信工業株式会社 3月1日より入居

## その他

# IX 関係機関・団体との協力活動

## 1. 関係機関・団体への委員等の就任

文部科学省独立行政法人評価委員会	臨時委員	青木富造
総務省安心ネットづくり促進協議会	委員	青木富造
NPO法人自然体験活動推進協議会	評議員	青木富造
社会教育団体振興協議会	会長	國分正明
〃	副会長	山崎一紀
〃	幹事	久世郁夫

# X. 表彰

## 1. 平成26年度修養団年次功労者表彰(創立109周年)

名誉団員 1名 玄永 三男 (福島)

特別賞【蓮沼賞】

4名 星 昭次 (北海道)、武田 和子 (福島県)  
高橋恵美子 (新潟県)、長谷川長三郎 (新潟県)

表彰 個人：4名 団体：2団体

感謝状 個人：3名 団体：3団体

# XI 諸会議の開催等

## 1. 理事会

### (1) 第1回理事会

期 日 5月21日 (水)  
会 場 SYD会議室  
出席理事 13名 欠席理事 3名  
出席監事 3名 欠席監事 0名  
議 題 ア. 平成25年度事業報告について  
イ. 平成25年度収支決算について  
ウ. 平成26年度上期慰労手当の支給について  
エ. 理事・監事の候補者の推薦について

### (2) 臨時理事会

期 日 6月13日 (金)  
会 場 SYD会議室  
出席理事 7名 欠席理事 6名  
出席監事 1名 欠席監事 2名  
議 題 ア. 理事長・専務理事・常務理事の互選について  
\*新理事長に御手洗康氏が選任された

### (3) 第2回理事会

開催日 12月15日(月)  
会場 SYD会議室  
出席理事 8名 欠席理事 5名  
出席監事 2名 欠席監事 1名  
議題 ア. 平成27年度基本方針(案)・事業計画大綱(案)について  
イ. 平成27年度予算大綱(案)について  
ウ. 次回の理事会について

### (4) 第3回理事会

期 日 平成27年3月18日(水)  
会 場 SYD会議室  
出席理事 8名 欠席理事 5名  
出席監事 3名 欠席監事 0名  
議 題 ア. 平成27年度事業計画(案)について  
イ. 平成27年度収支予算(案)について  
ウ. 評議員会の招集について

## 2. 評議員会

期 日 6月6日(金)  
会 場 SYD会議室  
出席評議員 9名 欠席評議員 5名  
議 題 ア. 平成25年度事業報告並びに収支決算について  
イ. 平成26年度事業計画並びに収支予算について  
ウ. 平成27年度事業計画への要望について  
エ. 理事・監事の選任について

## 3. 後援会役員会

期 日 6月17日(火)  
会 場 SYD会議室  
出席者 5名  
本部役職員 5名

## 4. 顧問会

期 日 6月23日(月)  
会 場 SYD会議室  
出席者 3名  
本部役員 3名

## 5. 弔 事

恩人・名誉団員が逝去され、弔意を表した。(敬称略)

北海道	千葉 与一	6月 4日	(修養団美幌会理事)
福島県	大高善兵衛	8月 3日	(元修養団理事・監事、前修養団福島県連会 会長前(株)ヨークベニマル社長)
神奈川県	山崎 國子	10月12日	(修養団相談役、元修養団理事・婦人部長)
千葉県	平山 敏夫	12月 7日	(修養団千葉県連合会理事長)
三重県	中山 靖雄	3月 8日	(修養団相談役、元修養団常務理事、元伊勢 道場長)

## X. 110周年プロジェクトの発足

### 1. プロジェクトチーム会議

8名の役職員によるプロジェクトチームを4月に発足し、9月末まで9回の会議おこな  
い、記念大会骨子案、記念事業案、実行委員会案、ロゴマーク案をまとめた。

その後、10月8日の部長会で報告・協議し、それぞれ了承を得た。

#### (1) 創立110周年記念大会（案）

ア. 開催日 平成28年2月7日（日）

※平成25年11月26日に宮内庁東宮職を通じて、皇太子・同妃両殿下の記念大  
会へのご臨席をお願いしていたが、開催日2月7日でご臨席いただける旨の連絡  
を3月17日に受けた。

イ. 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール  
(定員758名)

※なお、祝賀会会場は、国際交流棟レセプションホール（定員500名・立食）。

#### (2) 記念事業（案）

10月の部長会で記念事業案を説明し、平成27年度事業での取り組み検討を依頼した。

#### (3) ロゴマーク

ロゴマーク案をもとにイラストレーターの松本剛氏に描いていただき、下記に決定した。



SYD(公益財団法人修養団)は、創立以来、多彩な  
社会教育活動を展開し、平成28年2月11日に創立  
110周年を迎えます。

私たちは、『愛と汗』の原点に立ち返り、これからも  
“心ひとつに”笑顔あふれる社会の実現に向けた、幸せ  
の種まきを実践してまいります。

### 2. 記念大会実行委員会

実行委員会内に行事部会、参加・表彰部会、総務部会、(伊勢部会)を置き、第1回「部  
会長会議」を11月21日に開催した。以後、月1～2回のペースで各部会を開催し、具  
体的な検討と準備をすすめるとともに、部会長会議で重要事項の調整や検討をおこなった。

平成26年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」  
第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存  
在しないので作成しない。

平成27年5月

公益財団法人 修 養 団

# 後援会活動報告

平成26年度後援会活動は、6月17日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は13,500,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越紀州製紙、東芝等々法人会員99社、個人会員162名の方々の深いご理解と温かいご支援により、11,160,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,827,578円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

## 1. 会員移動状況

(敬称略)

(1) 新入会員〈法人会員 1社、個人会員 6名〉

(福島県) 郡中丸木(株)

(長野県) 松本 康裕 (東京都) 小山 耕一 (神奈川県) 御手洗 康

(大阪府) 野田 和幹 (大阪府) 松尾 直美 (広島県) 直井 和子

(2) 逝去会員〈個人会員5名〉

(静岡県) 藤原 康男 (東京都) 中村 鶴治 (神奈川県) 山崎 國子

(大阪府) 中川 倫 (山口県) 山野 芳樹

## 2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉

法人会費 11,500,000円

個人会費 2,000,000円

合計 13,500,000円

〈募金実績〉

法人会費 9,450,000円

個人会費 1,710,000円

合計 11,160,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月17日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月中旬より募金活動を開始。平成26年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

## 3. 広報活動

(1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成25年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に平成26年度のお願いをした。

(2) 『向上』(平成26年度5月号より1年間)及び平成27年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

## 4. 会 議

### (1) 役員会

期 日 6月17日(木) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 常任幹事 佐々木政伸、山本憲一、西村敏行、金川貴宣

監 事 芳賀 律 (松野正人監事代理)

修養団 國分正明、御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、岩佐加寿子

### 議 事

ア. 平成25年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 平成26年度後援会事業計画案及び収支予算案について

ウ. 平成25年度修養団主要事業報告並びに

平成26年度修養団主要事業計画について

エ. その他

## 5. 収支報告 (4月1日～平成27年3月31日まで)

貸 方 (支出)	科 目	借 方 (収入)	前年度 (収入)
	会費収入 (法人)	9,450,000 ( 99 社)	9,500,000(101 社)
	〃 (個人)	1,710,000 (162 名)	1,750,000(162 名)
	そ の 他 の 収 入		
10,825,578	修 養 団 後 援 金		
3,966	旅 費		
8,640	印 刷 費		
92,696	通 信 運 搬 費		
176,910	消 耗 品 費		
35,640	会 議 費		
16,570	雑 費		
11,160,000	合 計	11,160,000	11,250,000